

# 地区労福協「ライフプランセミナー」開催



▲藤野美樹氏 労金佐世保支店



▲主催者を代表して菊永会長挨拶



▲講師に注目の参加者の皆さん



▲堀江有希氏 こくみん共済 coop 佐世保支所

12月9日（水）18:30～労働福祉センターに於いて、60人参加のもと、九州労金佐世保支店の藤野美樹氏、こくみん共済 coop 佐世保支所の堀江有希氏の2人を講師にお願いして、「ライフプランセミナー」を開催しました。

労金藤野講師からは、老後の資産形成についてなど、お金を借りるときは、労金に相談くださいと説明。こくみん共済 coop 堀江講師からは、生活保障設計運動の視点に立って、「保障」の無理・無駄をなくそう等、これからの将来設計の参考になる有意義な内容を、前面のスクリーンを使用して講演が行われました。参加された皆様大変お疲れ様でした。

編集後記 H・K 新しい年を迎え、今年もよろしくお祈りします。年内には、衆議院選挙が予定されます。また、西海市議選、平戸市議選も施行されます。政策制度の実現に向け、連合推薦候補者全員の当選をめざし、がんばりましょう。コロナ禍の中ではございますが、健康に気を付けて、皆様のご活躍をご祈念申し上げます。今年もご支援ご協力をあらためて、よろしくお願い申し上げます。

 JTUC SASEBOCHIKYO	<h1>連合長崎</h1> <h1>させぼ</h1>	NO. 45 連合長崎 佐世保地域協議会 〒857-0851 佐世保市稲荷町2-28 TEL 0956-20-0565 Fax 0956-20-0567 Email:sasebo-rengo@hop.ocn.ne.jp 2021年1月25日 発行責任者：鴨川博明

## 新年のご挨拶



連合長崎佐世保地協  
議長 菊永昌和

新年あけましておめでとうございます。

2021年が組合員及びご家族の皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症予防対策により、組合活動が大きく制限され、集会や会議、イベントの中止や開催方法の変更といった対応を迫られた一年でした。今なお、私たちは第3波に直面しており、より一層、感染予防対策に最大限の注意を払いながら活動を進める必要があります。

また、日本国内全体でも、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なイベントが中止や延期、規模縮小となり、インバウンドは消失しました。企業倒産は昨年と比較すると抑制されていますが、休業・解散は4万3千社を超えるという過去最多のペースであり、東京商工リサーチが実施したアンケートによると、さらに30万社が廃業の危機に瀕していると言われています。

サプライチェーンや雇用の受け皿が喪失すると、産業や地域が一気に衰退しかねない状況にあり、今後は経済合理性ありきではなく、企業や地域特性を加味した企業に寄り添った支援策が必要になると思います。

また、8月には安倍首相が突然の辞任表明を行い、7年8カ月に及ぶ長期政権に終止符が打たれました。



安倍首相在任中は、自公一強体制でやりたい放題、国民不在、「カケ・モリ疑惑」や「桜を見る会問題」のように、政治の私物化と隠蔽・偽造・ねつ造など、民主主義の崩壊が進みました。その後任である菅首相も安倍政治を引き継ぐ事を名言しており、日本学術会議の新会員任命拒否問題においても明確な説明は行わないままであり、日本学術会議法に反することはもとより、憲法23条「学問の自由」を著しく侵害する行為を行っています。

さらにはGotoトラベル事業の停止の遅れにより、コロナ感染は拡大の一途を辿っています。経済とは「経世済民」であり、国民の命、生活が最優先されるべきです。明確でわかりやすい給付金などを後ろ盾に、早め早めに人の動きを止めるしか現段階ではこの未知のウィルスと闘うすべはないと考えます。

今年中に必ず、衆議院議員選挙が施行されます。私たちが目標とする「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざす絶好のチャンスです。そのためには、長崎県1区から4区までの推薦候補者全員の当選を果たす必要があります。佐世保地協に集う全組合員・ご家族の絶大なるご支持・ご支援をお願いいたします。2021春期生活闘争と取り組みと併せて、私たちの労働者のための闘いとして勝ち抜きましょう。

今年一年が皆さんにとって輝かしい一年となることを祈念してご挨拶いたします。



## 2 アジア・アフリカ支援米発送式 クックマ孤児院からのお礼状



▲支援米移送用トラックの前で  
連合長崎宮崎会長、高藤事務局長



▲くっくま孤児院からの支援米到着お礼の写真



▲支援米目録を子ども食堂小西代表へ贈呈する連合長崎宮崎会長



アジア・アフリカ支援米の発送式は、1月19（火）12:30～、長崎の勤労福祉会館前で移送用のトラックに支援米を積み込みました。

また、子ども食堂への支援に関しましては、長崎子ども食堂ネットワーク小西代表に連合長崎宮崎会長より支援米目録の贈呈を執り行いました。

皆さんが、田植えを行い稲刈り収穫が行われたアジア・アフリカ支援米は、アフリカ、マリ共和国、カンボジア・くっくま孤児院、子ども食堂に対し無事に送付されました。

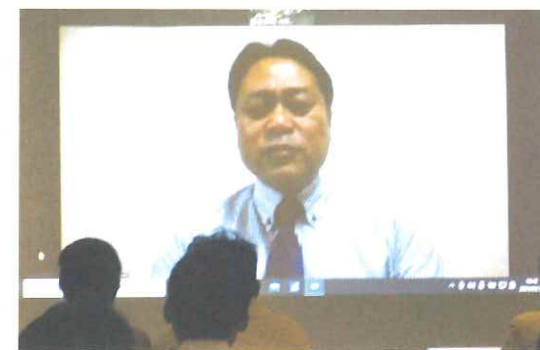
くっくま孤児院からは、昨年送付した支援米のお礼状がカンボジア国内郵便事情がありまして、少し遅れて到着いたしましたので、支援団体代表からのお礼状並びに、子どもたちの笑顔あふれる写真を紹介させていただきます。

ご支援・ご協力をいただきました皆様ありがとうございました。

## 連合長崎春闘討論集会



▲主催者を代表して宮崎会長挨拶



▲連合本部・藤川局長より、基調講演



▲ 連合長崎種村副事務局長より連合長崎の方針説明

1月23日（土）13:30～長崎市にて、「連合長崎2021 春季生活闘争討論交流集会」を、約60人の参加のもと開催されました。佐世保地協からは、菊永議長、鴨川事務局長で参加しました。

最初に、主催者を代表して、連合長崎宮崎会長より挨拶。続いて、連合本部を代表して、藤川局長より連合本部の春闘方針についてWEBでの基調講演。その後、UAゼンセン・長岡支部長、島原鉄道労組・田尻執行委員長の2つの組織より単組報告が行われました。

続いて、種村副事務局長より、連合長崎の春闘方針について提起があり、討論集会のまとめを高藤事務局長。最後に古川副事務局長のガンバロー三唱で集会を終了しました。

## 地球上から核兵器をなくそう！1.22長崎集会・学習会



▲主催者を代表して宮崎会長挨拶



▲原爆落下時間11:02分・参加者全員で黙とう



▲（RECNA）中村桂子准教授の講演

1月22日（金）10:45～11:10長崎市平和公園「爆心地公園」にて、「地球上から核兵器をなくそう！1.22長崎集会」が開催されました。

最初に、主催者を代表して、連合長崎宮崎会長より挨拶。続いて、集会宣言文を採択し、原爆が投下された時間11:02、全員で黙とうを捧げて集会は終了しました。

会場を原爆資料館ホールへ移動して、11:30～連合長崎学習会「核兵器禁止条約」発効後の課題」と題し、「長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）中村桂子准教授を講師にお招きしての学習会に参加しました。最初に、主催者を代表して、連合長崎宮崎会長より挨拶。続いて、中村准教授より「核兵器の終わりの始まり」ということで、「核兵器禁止条約」について、世界の状況や発効の意味、日本の私たちの課題などわかりやすく講演がありました。